



Exchange メールボックスの移動と復元

- [Exchange メールボックスの移動と復元, 1 ページ](#)

Exchange メールボックスの移動と復元

概要

Cisco Unity Connection でのユニファイドメッセージングユーザのメールボックスは、ある Exchange サーバから別のサーバに移動することができます。何らかの理由で、メールボックスをある Exchange サーバから別のサーバに移動することができます。最新のサポート対象バージョンの Exchange サーバを組織の既存の Exchange 環境に追加した後に、ユーザのメールボックスを最新のバージョンに移動する必要がある場合について考えてみましょう。

ユーザのメールボックスを Exchange のあるバージョンから別のバージョンに移動するには、Unity Connection ユーザの特定の設定を一部更新する必要があります。これにより、Unity Connection はユーザ メールボックスの移行を自動的に検出できるようになります。Unity Connection がメールボックスの移行の検出に失敗した場合は、ユニファイドメッセージングユーザの既存のメールボックスを移行された Exchange サーバ上の新しいメールボックスに手動で置き換える必要があります。

Exchange メールボックスの移動後のユーザ設定の更新

[ユニファイドメッセージングの設定](#)の章で説明するように、管理者は Exchange で 1 つ以上のユニファイドメッセージングサービスを作成できます。以下は、Exchange メールボックスの移動後に Unity Connection がユーザ設定を手動でどのように更新するかを識別する 2 つの設定です。

- Unity Connection は Exchange サーバを検索します：Unity Connection が Exchange サーバを検索できるように選択した場合、Unity Connection は、メールボックスが Exchange の別のバージョンに移動された時期を自動的に検出し、Unity Connection ユーザ設定を自動的に更新します。

- Unity Connection は特定の Exchange サーバを選択します：特定の Exchange サーバを選択すると、Unity Connection はある Exchange サーバから別のサーバへのメールボックスの移動を検出するか、または検出に失敗します。管理者は古いユニファイドメッセージングアカウントを特定の Exchange サーバにアクセスするための新しいユニファイドメッセージングアカウントに手で置き換える必要があります。



- (注)
- Unity Connection がメールボックスの移動を自動的に検出できない場合は、[Exchange メールボックス移動後の Unity Connection ユニファイドメッセージングアカウントの置換](#)を参照してください。
 - Unity Connection がメールボックスの移動を自動的に検出する場合は、[新しい Exchange サーバへの Exchange メールボックスの移動](#)を参照してください。

表 1：Unity Connection が Exchange サーバ間におけるメールボックスの移行を自動的に検出できる場合に、Exchange サーバ間でのメールボックスの移動を Unity Connection が自動的に検出できる場合と検出できない場合のシナリオを示します。

表 1：Unity Connection が Exchange サーバ間におけるメールボックスの移行を自動的に検出できる場合

選択する特定の Exchange サーバ	次の Exchange バージョン間でのメールボックスの移動を Unity Connection が自動的に検出可能						
		2007 および 2007	2007 および 2010	2010 および 2010	2007 および 2013	2010 および 2013	2013 および 2013
Exchange 2007 サーバ		あり	なし	なし	なし	なし	なし
Exchange 2010 サーバ		○	○	○	なし	なし	なし
Exchange 2013 サーバ		○	○	○	○	○	○

新しい Exchange サーバへの Exchange メールボックスの移動

組織内では、Exchange メールボックスを新しいサーバに移動することによって、Exchange サーバを追加できます。Exchange メールボックスがシングルインボックスに設定されている Unity Connection ユーザに関連付けられている場合は、メールボックスを移動する前に Unity Connection に必要な権限を付与する必要があります。それ以外の場合は、Unity Connection ユーザは新しいロケーションからボイスメールにアクセスできません。これは、Unity Connection が Exchange サーバを検索できるようにした場合や、Unity Connection が特定の Exchange サーバと通信できるようにした場合にも当てはまります。

Exchange サーバごとに必要な権限の付与については、[Active Directory でのユニファイドメッセージングの設定 \(p. 2-5\)](#) を参照してください。



(注) 新しい Exchange サーバにアクセスするには、新しいユニファイドメッセージングサービスアカウントを作成するか、または既存のユニファイドメッセージングサービスアカウントに必要な権限を付与する必要があります。

Exchange メールボックス移動後の Unity Connection ユニファイドメッセージングアカウントの置換

次に、Unity Connection が Exchange メールボックスの移動を検出できず、Unity Connection ユーザの Exchange メールボックスのロケーションを自動的に更新できない場合に、管理者が実行する必要がある手順を示します。

- 1 新しいメールボックスの場所にアクセスする新しいユニファイドメッセージングアカウントを手動で作成します。
- 2 古いメールボックスの場所にアクセスしていたユニファイドメッセージングアカウントを削除します。



注意 ユーザが Exchange メールボックスを移動し、影響を受けるユーザの Unity Connection 設定を更新している間、Unity Connection では、ボイスメールを対応する Exchange メールボックスとの同期を行いません。

Exchange メールボックスを移動後に、Unity Connection ユニファイドメッセージングアカウントを置き換えるには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [Exchange メールボックスの移動後のユーザ設定の更新](#)を確認して、Unity Connection が Exchange 設定のメールボックスの移動を自動的に検出できるかどうかを判断します。

ステップ 2 次のいずれかの手順を実行します。

- Unity Connection によりメールボックスの移動が検出される場合は、残りの手順を省略します。
- Unity Connection によりメールボックスの移動が検出されない場合は、[ステップ 3](#)に進みます。

- ステップ 3** Exchange メールボックスを、Unity Connection にユニファイド メッセージング サービスが存在しない Exchange サーバに移行した場合は、サービスを作成します。詳細については、[メール サーバにアクセスするためのユニファイドメッセージング サービスの作成 \(p. 2-27\)](#) を参照してください。
- ステップ 4** ユーザに対し新しいユニファイドメッセージング アカウントを作成し、メールボックスが移動された新しい Exchange サーバにアクセスするユニファイドメッセージング サービスを選択します。詳細については、[ユーザのユニファイドメッセージング アカウント \(p. 2-30\)](#) を参照してください。
- ステップ 5** メールボックスの移動元の古い Exchange サーバにアクセスしていたユニファイドメッセージング アカウントを削除します。
- Unity Connection Administration で、[ユーザ (Users)] を展開して、[ユーザ (Users)] を選択します。
 - [ユーザの検索 (Search Users)] ページで、ユーザのエイリアスを選択します。
 - [ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページの [編集 (Edit)] メニューから、[ユニファイドメッセージングアカウント (Unified Messaging Accounts)] を選択します。
 - [ユニファイドメッセージングアカウント (Unified Messaging Accounts)] ページで、削除するユニファイドメッセージングアカウントの左のチェックボックスをオンにします。[選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。
- ステップ 6** Exchange メールボックスを移行した他のユーザに対して**ステップ 3** ~ **ステップ 5** を繰り返します。
-

Exchange メールボックスの復元

Unity Connection の Exchange メールボックスを復元するには、ユーザの現在のユニファイドメッセージングアカウントをバックアップする必要があります。ここでは、個々のユーザまたは複数のユーザに対するユニファイドメッセージング機能を復元する方法を示します。復元時に最も重要なことは、シングルインボックスを無効にして Exchange と Unity Connection 間の同期を停止することです。

Microsoft Exchange メールボックスを復元するためのタスク リスト

- 1 選択したユーザ、またはユニファイドメッセージング サービスのシングルインボックスを無効にします。[Unity Connection のシングルインボックスの無効化](#)を参照してください。
- 2 Exchange メールボックスを復元します。詳細については、該当する Microsoft 社の資料を参照してください。
- 3 適切なオプションを選択して、単一受信トレイを再度有効にします。
 - Unity Connection\ Administration を使用して個別のユーザのシングルインボックスを無効にした場合は、[個々のユーザのシングルインボックスの無効化](#)を繰り返します。ただし、[Unity Connection メールボックスと Exchange メールボックスを同期する (シングルインボックス) (Synchronize Unity Connection and Exchange Mailboxes (Single Inbox))] チェックボックスをオンにします。

- ユニファイドメッセージングサービスのシングルインボックスを無効にした場合は、すべてのユーザのシングルインボックスの無効化を繰り返します。ただし、必要に応じて、[Connection と Exchange のメールボックスを同期する (シングルインボックス) (Synchronize Connection and Exchange Mailboxes (Single Inbox))] チェックボックスまたは [有効 (Enabled)] チェックボックスをオンにします。
- 一括管理ツールを使用してシングルインボックスを無効にした場合は、一括管理ツールを使用した多数の選択ユーザのシングルインボックスの無効化を繰り返します。ただし、enableMbxSynch の値を 1 に変更します。

Exchange メールボックスを復元する前にシングル インボックスを無効にする

Exchange メールボックスと他のユニファイドメッセージングサービス機能が復元されている Unity Connection ユーザのシングルインボックスを無効にする必要があります。シングルインボックスが無効になっていないと、Unity Connection はバックアップが開始された時間から復元が完了するまでに受け取ったボイスメールを同期できません。

シングル インボックスが無効な場合の同期キャッシュの動作

Unity Connection は、Exchange にすでに転送されたボイスメールを追跡する同期キャッシュを維持します。単一受信トレイを無効にすると、同期キャッシュは自動的にクリアされます。

単一受信トレイが無効な場合の同期キャッシュの動作について理解するには、次の手順を実行します。

- 1 Exchange サーバのバックアップを取ります。
- 2 新しいボイスメールが届きます。
- 3 Unity Connection は、ボイスメールを Unity Connection ユーザに関連付けられている Exchange メールボックスと同期させます。
- 4 Unity Connection は、そのメッセージが Exchange と同期したことを示すよう、そのユーザの同期キャッシュを更新します。
- 5 Exchange サーバのハードディスクに障害が発生します。
- 6 障害が発生したハードディスクに Exchange メールボックスがある Unity Connection ユーザのシングルインボックスを無効にします。
- 7 Unity Connection により、そのユーザの同期キャッシュがクリアされます。
- 8 ハードディスクを交換し、ステップ 1 で作成したバックアップから Exchange を復元します。
- 9 そのユーザの単一受信トレイを再度有効にします。
- 10 Unity Connection により、同期キャッシュと現在 Exchange にあるボイスメールが定期的に比較されます。

- 11 キャッシュが空であるため、Unity Connection により、Unity Connection メールボックスには存在するが、Exchange メールボックスには存在しないボイスメールは、まだ Exchange と同期していないという結論が出されます。
- 12 Unity Connection により、Unity Connection メールボックスが Exchange メールボックスと再同期され、同期キャッシュが再構築されます。

シングルインボックスが有効な場合の同期キャッシュの動作

Unity Connection ユーザのシングルインボックスを無効にせずに Exchange メールボックスを復元すると、復元元のバックアップ後に受信されたすべてのボイスメールが Unity Connection によって削除されます。単一受信トレイとの同期キャッシュの動作について理解するには、次の手順を実行します。

- 1 Exchange サーバのバックアップを取ることができます。
- 2 新しいボイスメールが届きます。
- 3 Unity Connection は、ボイスメールを Unity Connection ユーザに関連付けられている Exchange メールボックスと同期させます。
- 4 Unity Connection は、そのメッセージが Exchange と同期したことを示すよう、そのユーザの同期キャッシュを更新します。
- 5 Exchange サーバのハードディスクに障害が発生します。
- 6 ハードディスクを交換し、1 で作成したバックアップから Exchange を復元します。
- 7 Unity Connection により、同期キャッシュと現在 Exchange にあるボイスメールが定期的に比較されます。2 で届いたボイスメールは、関連する Unity Connection ユーザの Exchange メールボックス内には存在していません。
- 8 Unity Connection により、ボイスメールはすでに Exchange と同期していて、Exchange メールボックス内のメッセージとは再同期していないという結論が出されます。

Unity Connection のシングルインボックスの無効化

Exchange メールボックスを復元するときの最初のステップは、単一受信トレイの無効化です。復元する Exchange サーバの数、または Unity Connection 機能への復元の影響に応じて、次のいずれかの方法でシングルインボックスを無効にできます。

ユーザ数が少ない場合の Exchange メールボックスの復元

ユーザ数が少ない場合の Exchange メールボックスの復元では、Unity Connection\Administration を使用して個々のユーザアカウントのシングルインボックスを無効にできます。[個々のユーザのシングルインボックスの無効化](#)を参照してください。

すべてのユニファイド メッセージング ユーザの Exchange メールボックスの復元、または Unity Connection 機能を考慮しない場合の Exchange メールボックスの復元

次のいずれかの条件で、すべてのユニファイドメッセージングユーザの単一受信トレイ機能を無効にできます。

- ユニファイドメッセージング サービスに関連付けられているすべてのユーザのメールボックスの復元時。
- 単一受信トレイ機能の停止によるユーザへの影響が少ない業務時間外における、ユニファイドメッセージング サービスに関連付けられている選択されたユーザのメールボックスの復元時。

ユニファイドメッセージング サービスの単一受信トレイを無効にする方法には2つあります。

- **1つのユニファイドメッセージング サービスのシングル インボックスのみを無効にする**：シングル インボックスのみを無効にした場合は、Unity Connection のカンバセーションが他のユニファイドメッセージング機能のオプションとして機能し続けます。Exchange を使用できない間に、ユーザがこれらの機能の1つを選択した場合、Unity Connection の会話が、現在そのメッセージにはアクセスできない状態であることをアナウンスします。
- **ユニファイドメッセージング サービス全体を無効にする**：ユニファイドメッセージング サービスで他のユニファイドメッセージング機能（音声合成や連絡先の統合など）が有効になっていて、そのサービスを無効にした場合、Unity Connection のカンバセーションはユニファイドメッセージング サービスが再度有効になるまでそれらの機能のオプションの再生を停止するので、ユーザが混乱する可能性があります。

詳細については、[すべてのユーザのシングル インボックスの無効化](#)を参照してください。

Unity Connection 機能が考慮される場合のユニファイドメッセージング サービスに関連付けられている一部のユーザの Exchange メールボックスの復元

ユニファイドメッセージング サービスに関連付けられている多数のユーザの Exchange メールボックスを復元する場合、次の両方の条件に当てはまる場合は、一括管理ツールを使用して個々のユーザの単一受信トレイを無効にできます。

- ユニファイドメッセージング サービスが、メールボックスを復元しないユーザも含んでいる。
- メールボックスを復元しないユーザへの影響を最小化したい業務時間内にメールボックスを復元する。

個々のユーザのシングル インボックスの無効化

-
- ステップ 1** Unity Connection Administration で、[ユーザ (Users)] を展開して、[ユーザ (Users)] を選択します。[ユーザの検索 (Search Users)] ページで修正するユーザ アカウントのエイリアスを選択します。
- ステップ 2** [ユーザの編集 (Edit Users)] ページの [編集 (Edit)] メニューで、[ユニファイドメッセージングアカウント (Unified Messaging Accounts)] を選択します。ユーザの単一受信トレイを有効にしているユニファイドメッセージングアカウントを選択します。
- ステップ 3** [Unity Connection メールボックスと Exchange メールボックスを同期する (シングル インボックス) (Synchronize Unity Connection and Exchange Mailboxes (Single Inbox))] チェックボックスをオフにします。
- ステップ 4** [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 5** 他のユーザに対して [ステップ 1](#) ~ [ステップ 4](#) を繰り返します。
-

すべてのユーザのシングル インボックスの無効化

ユニファイドメッセージングサービス全体を無効にするには、[有効 (Enabled)] チェックボックスをオフにします。

-
- ステップ 1** Unity Connection Administration で、[ユニファイドメッセージング (Unified Messaging)] を展開して、[ユニファイドメッセージング サービス (Unified Messaging Services)] を選択します。
- ステップ 2** [ユニファイドメッセージング サービスの検索 (Search Unified Messaging Services)] ページで、変更するユニファイドメッセージング サービスのエイリアスを選択します。
- ステップ 3** このユニファイドメッセージング サービスに関連付けられているユーザの単一受信トレイを無効にするには、[Connection と Exchange のメールボックスを同期する(シングル インボックス) (Synchronize Connection and Exchange Mailboxes (Single Inbox))] チェックボックスをオフにします。ユニファイドメッセージング サービス全体を無効にするには、[有効 (Enabled)] チェックボックスをオフにします。
- ステップ 4** [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 5** シングル インボックスを無効にする他のユニファイドメッセージング サービスについても、[ステップ 1](#) ~ [ステップ 4](#) を繰り返します。
-

一括管理ツールを使用した多数の選択ユーザのシングル インボックスの無効化

-
- ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、[ツール (Tools)]を展開して、[一括管理ツール (Bulk Administration Tool)]を選択します。
 - ステップ 2 [操作の選択 (Select Operation)]から[エクスポート (Export)]を選択します。
 - ステップ 3 [オブジェクトタイプの選択 (Select Object Type)]で、[ユニファイドメッセージングアカウント (Unified Messaging Accounts)]を選択します。
 - ステップ 4 ユニファイドメッセージングアカウントをエクスポートする CSV ファイルのファイル名を入力します。
 - ステップ 5 [送信 (Submit)]を選択します。
 - ステップ 6 画面の指示に従い、CSV ファイルを保存します。
 - ステップ 7 CSV ファイルを開きます。
 - ステップ 8 シングル インボックス機能を無効にするユーザに対し、enableMbxSynch の値を 0 に変更します。
 - ステップ 9 Cisco Unity Connection Administration で、[ツール (Tools)]>[一括管理ツール (Bulk Administration Tool)]の順に選択します。
 - ステップ 10 [操作の選択 (Select Operation)]から[更新 (Update)]を選択します。
 - ステップ 11 [オブジェクトタイプの選択 (Select Object Type)]で、[ユニファイドメッセージングアカウント (Unified Messaging Accounts)]を選択します。
 - ステップ 12 [ステップ 8](#) で更新した CSV ファイルの名前を指定します。
 - ステップ 13 [送信 (Submit)]を選択します。
-

Exchange メールボックスを復元する前にシングル インボックスを無効にする